

原子力 ワンポイント

日本の放射線・放射能基準 — 福島第一原発事故 (番外編⑫) —



部被ばくしていることになり、体重六十kgの人

で約七千Bqの放射性物質を持っているといわれています。五百Bq/kgの牛肉百五十gを誤って食

べた場合は、約1μSvの線量(0.975μSv)の線量を受けることとなります

暫定規制値は危険値ではない

暫定規制値(五百Bq/kg)を超える放射性セシウムが出たよ。牛肉を食べるのが恐いね。

暫定規制値(五百Bq/kg)を超える放射性セシウムが出たよ。牛肉を食べるのが恐いね。

ゲンくん 牛肉から

から受ける線量より小さいことがわかります。政府が決めた暫定規制値とは毎日食べても心配

することがないことを意味する量なので、安全と危険の境界を示す数値ではないことをわかってもらえようと思いますし、

行政が対策を始める目安なのです。たとえば暫定規制値を超えた牛肉が

出回り、誤って食べてしまうことも問題ないことともわかつてもらえようと思います。

ゲンくん テレビでみる二十μSvとか一μSvについてもどういう意味か教えて。

カワさん 計画的避

自然放射線 (世界の平均)		単位 (μSv)
内部線量	呼吸 (主にラドン)	1,260
	食物	290
外部線量	大地	480
	宇宙	390
年間線量	(合計)	2,420

ます。普通の状態では、世界平均では年間二・四μSv(二千四百μSv)の線量を自然界から受けていますので(日本は一・四μSv/年)、その上に更に一μSvの線量を受けることを許容しては

りませんが、一九四九年から行われた大気圏内核実験のときに降り注いだ線量は四・四μSv(口から三・二μSv、鼻から〇・二μSv、外部被ばくで一・〇μSv)になるそうです。それでも日本は長寿国になりました。一μSvもICRPが放射線防護の観点から設定したもので、安全と危険の境界を示す数値ではないことをわかってもらえようと思います。

難区域の設定にしている年間二十μSvは、放射線を浴びて働く人の線量限度で、ICRP(国際放射線防護委員会)が設定した、進んで受け容れることはできないが耐えられること(我慢できる)レベルの被ばく線量になります。また、一μSvは一般の人の線量限度で、呼吸によりラドンを取り入れた分を除いた自然放射線による年間の被ばく線量になり

ゲンくん 六十年前

進部)

にはたくさん放射性物質が降ったときが日本にもあったんだね。

カワさん ガンになりやすい人となりにく

りませんが、一九四九年から行われた大気圏内核実験のときに降り注いだ線量は四・四μSv(口から三・二μSv、鼻から〇・二μSv、外部被ばくで一・〇μSv)になるそうです。それでも日本は長寿国になりました。一μSvもICRPが放射線防護の観点から設定したもので、安全と危険の境界を示す数値ではないことをわかってもらえようと思います。

ゲンくん 六十年前

進部)